

親子ワークショップにおけるチャレンジ宣言の取組状況

1 概要

平成 28 年 3 月 29 日に開催した親子ワークショップの中で、参加者から、夏休みまでにチャレンジしたいごみ減量・リサイクル行動を 3 つ宣言（チャレンジ宣言）してもらった。

7 月下旬、各参加者に対して「確認シート」を郵送し、その後のチャレンジ宣言の取組状況について確認を行った。

2 チャレンジ宣言の取組状況（10 組中 7 組から回答）

◆「できた（○）」主な取組

- ・ごみ出しを手伝う、分別をしっかりする
- ・牛乳パックをリサイクルする
- ・ペットボトルを分別する（ふたやラベルを洗う）
- ・計画的に買い物をする
- ・新しいおもちゃやお菓子を頻繁に買わないようにする
- ・ごみを出さないよう物を長く使う
- ・服をリユースする（親戚に譲るなど）
- ・ごはんを残さず食べる
- ・水切りをする

◆「もうちょっと（△）」の主な取組

取組内容	出来なかった理由
・外でもラベルとキャップを分ける ・肉や魚を複数購入する際、1 袋にまとめる ・残さず食べる ・計画的に買い物をする	・分けて捨てるごみ箱がない ・実家の分も頼まれると別袋で購入してしまう ・親がたくさん盛ってしまう ・スケジュール管理ができていない

◆「できなかった（×）」主な取組

取組内容	出来なかった理由
・生ごみをたい肥にする ・古着を拠点に持ち込む	・手間と時間が必要 ・着る服と着ない服の仕分けができな

◆チャレンジ宣言以外に取り組んだこと

- ・じゅんかんコンビニを利用
- ・電球を LED に変更
- ・チラシの裏をメモ紙として利用
- ・エコバックを必ず持参

◆その他の意見

- ・チャレンジ宣言の取組をしているうちに習慣になった。
- ・これまでの行動がもったいないことだと気づいた。
- ・外でもペットボトルのキャップを分別するために、回収ボックスを公共の場所に設置するといいいのでは。
- ・じゅんかんコンビニはポイントを商品券と交換でき、主婦にとってはありがたい。